

みんなとともに笑顔いっぱい



みんなとともに



事実をお伝えして保護者の皆様とともに子どもたちが安心して学ぶことのできる環境を保っていかう、と考えて開いた臨時の保護者会でした。しかし、報道機関で取り上げられたことによって意図したこととは逆になり、子どもたちの不安をあおる結果となってしまったことが残念であります。私の願いは「子どもの笑顔」です。これからも「笑顔いっぱい」の学校づくりに尽力します。



子どもたちは、いつもの生活をしています。

【校長日記】 11月8日(木)

いつものように登校指導が終わって校舎へ入る。「子どもたちはどんなふうにご過ごしているのかな」と校舎内を巡って朝の子どもたちの様子を見てみる。

先程、外では環境委員会の子どもたちが「落ち葉の片づけ」をしていた。保健室へ行ってみると、保健委員会の子どもたちが何やら「資料の作成」をしている。何か啓発活動をするようだ。

教室を巡ってみる。まだ朝の活動前の6年生、5年生は、友だちとの会話を楽しんでいる。階段を降りて3年教室、わかば学級の様子を見る。3年生は、朝の準備も終わり席について次の活動へと移るようだ。わかば学級も子どもが準備を終わりすでに担任と活動を始めている。

北校舎に移って、1年教室の様子を見ると……。子どもたちが前の方に集まっている。よく見ると、黒板の前に4人の子どもがいて「絵本の読み聞かせ」をしている。黒板の字を見るとイベント系の系活動らしい。係の子どもたちの絵本の見せ方や読み方が上手である。そして、聞き手の子どもたちが口を閉じて集中して聞いている。1年の子どもたちの成長ぶりを感じる場面を見て、とても感激した。



次に2年教室へ行ってみる。担任は用事があったので職員室に行ったようだが、自分たちで朝の会を進めている。朝の歌になり、きれいな高音の声に気がつけながら、「ともだちはいいもんだー」と気持ちよく歌っている。担任がいてもいなくても変わらずに生活している自立した姿に、「さすが、2年生だ」と感心した。

階段を上がって4年教室へ行く。多くの子どもたちは読書活動中で本を静かに読んでいる。担任は教室へ着いて、個別に子どもへの対応をしていた。



校舎内を巡って、いつもと変わらぬ朝の様子を感じた。ほっと安心する。

「校庭埋没除去土壌」の搬出が始まります。 — 11月12日(月) 開始 —

既に、10月25日にお知らせをしていますが、校庭に埋没保管されている除去土壌を搬出する工事が始まります。工事関係の車両の出入りがありますので、子どもたちへ指導をして安全に十分留意させていただきます。

なお、ロイヤルレジデンス方面から南門への通学は登校時は同じですが、下校時は清明学童クラブ前を通り学童前の西門から帰るようになります。

また、保護者の方が学校へ車でお越しの際は、交通誘導員の指示に従って駐車をしてください。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。